

A ねえ、聞いていい？

B 何？

A 私のコート、飛ばされちゃったみたいなんだけど。窓のところにかけてたの：見てない？

B 見てないけど。

A そう。

B この風なんだから、しっかりとめとかなきや駄目でしょ。

A しっかりとめたよ、いつもどおり。

B いつもどおりじや駄目でしょ、いつもよりしっかりとめなきや。

A そうだけど、朝は風無かつたんだもの。

A 謳めた方がいいんじやない。

A そう思つて買いくところ。

B 今から？ こんな時間に売つてるところなんてあるの？

A でも必要ななもの。明日は凄い雨になるらしいし。

B 確かに、雨も風もひどくなるつて言つてた。しかも、しばらく続くつて…

…。

A やっぱりもう少し探そつかな。

B どんなコートなの？

A ラクダ色。

B えッ。

A それしか持つてないよ。

B ラクダ色好きなの？

A 大好き。

B A じゃあ探すべきでしょ。手伝つてあげる。

A 親切だね。

B だつてラクダ色でしょ。しかも大好きだなんて聞いたから放つておけないし。

A それつて、ラクダ色だからなの？

B そう。ラクダのことが大好きなの。

A そんなに？

A だつて命の恩人なんだもの。助けてもらつたの、ラクダに…、

B どこで？

B 砂漠に決まつてるじやない、他にないでしょ？ ラクダに助けられるチャンスなんて。

A それはそうだけど。

B ほら、あそこつて暑いでしょ？ 果てしなく広いから、歩いてもキリがないの。だからへこたれちゃつて…。

A 何で砂漠なんか行つたの？

B そんなのわからないよ、だつて夢だもん。夢なの？ なんだ…。

★マインドトークのレッスン

- A 「……行かなくちゃいけないの、私（俺）」
B 「どうして？」
- A 「行きたくないな、私（俺）」「（）」
B 「どうして？」
- A 「お店があるし」
- B 「夫婦（親友）だろ」
- A 「《ふざけんな！》客員何とかの条件じゃないんでしょ」
B 「俺（私）ひとりじや自信がないんだよ。英語喋れるのが条件だけど、英語、俺（私）喋れないのに等しいし」
- A 「《嘘を付け！》私（俺）だつて喋れないよ」
B 「《嘘を付け！》だから心細いんだよ」
- A 「だつたら行かなきやいいじやない、何で……」
B 「《この野郎！》遊びに行くんだよ。あつちの学校で格安のアパート用意してくれてるし、観光ビザだと三ヶ月だけど一年いられるし」
- A 「遊びたくない」
- B 「お店、（埋める→）朝ちゃんがいるじやない」
A 「一人じや大変だよ」